

Y22a 研究施設利用イベントでの外部キュレーターの導入事例

玉澤春史, 樋本隆太, 河村聡人 (京都大学)

天文台など大学付属の研究施設における、一般向けイベントは施設職員が主導して開催することが主である。研究施設の紹介が主眼となるため当然であるが、イベント設計の観点、あるいは施設利用の観点から考えると、別の方法も考えられる。施設側の人間とイベント企画・運営の人間をわけるということは単なる分担だけではなく外部からの視点を得られることが考えられる。京都大学理学研究科附属花山天文台では2013年より一般公開の時期に天文台に作品展示をしてもらう企画を行っている。2016年に実施した企画では、外部キュレーターを置くことにより作家と天文台側の役割を明確にすることで作品の質を担保、企画意図の明確化などを図った。本講演ではこれまでの企画との比較も行いながら、イベントスペースとして研究施設の利用方法について考察する。